

日本労働年鑑 戦後特集(第22集)
The Labour Year Book of Japan post war special ed.

第二篇 労働組合

第二章 主要なる労働組合

15 全日本進駐軍要員労働組合

全日本進駐軍要員労働組合(全進労)

◇結成 昭和廿一年十一月廿四日

◇組織 (廿三年三月末) 三二組合 一九、八一九名

本部 東京都千代田区代官町二

◇役員 中央執行委員長 児玉 茂(北海道)

副中央執行委員長 石川 豊吉(東京)

松本日出彦(神奈川)

書記長 土方 皓(神奈川)

◇綱領

一、われらは進駐軍要員とその労働組合の基本的権利のために闘う

一、われらは進駐軍要員の労働条件の維持改善と生活の安定向上のために闘う

一、われらは全国単一組合の確立と賠償事務の徹底的民主化のために闘う

一、われらは連合軍部隊の移動撤収に依る進駐軍要員の失業に対し、その完全なる対策確立のために闘う

一、われらは全国産業別組織統合の先駆として労働組合の健全なる発達のために闘う

◇進駐軍労務者の組織であるため、微妙な活動をしているが直接使用者側になつていゝのはもちろん日本政府(終戦連絡事務局→廃止後特別調達廳である。廿二年末からはP・W(Prevailing Wages)をめぐる闘争が激化してきている。

◇産別加盟→全労連

■←前のページ 日本労働年鑑 戦後特集(第22集)【目次】 次のページ→■
日本労働年鑑【総合案内】

大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)
